

# しょうがんじ 松 巖 寺だ

www.shogangi.or.jp

より

令和元年夏

発行 花岡博芳

寺やお墓参りはご家族でお参りください。  
親から子へ、子から孫へと引き継がれます。  
寺との関係も自然と理解いただけます。

## ※お施餓鬼の受付はサマータイム

お施餓鬼の受付時間は、八月一日から三日までの朝七時から午後一時です。場所は本堂です。午前中は無理という方は、午後でもかまいませんが、山門前の建物にお越しください。玄関右手の呼び鈴を押してください。

## ※年中行事には是非ご参加ください

年中行事（正月祈禱・春秋彼岸・お盆法要）には是非ご参加ください。お盆の法要（おせがき）は近在の和尚様方が出頭されて厳肅に行われます。春と秋の彼岸は、工夫をこらした催し物をしていきます。正月祈禱は一年をすがすがしい気分で行うための十分ほどの法要です。本堂はすべて椅子席です。お墓参りをするだけでは供養にはなりません。寺での行事にご参加ください。

## ※霊園管理費納付御礼

霊園管理費を大多数の方に納付いただきありがとうございます。ただ、数軒のお家で未だ納付いただけていません。

## 御礼／お願い ご紹介 など

御礼・お願い・ご紹介・定例の催しをご案内するページです。いつも読んでくださる方には、いつものご案内でも、始めて読んでくださる方には、新鮮なご案内です。

ておりません。お納めくださるようお願いいたします。

振替用紙を紛失された方はお申し出ください。なお、郵便振替の口座番号は（00150・0・372690・松岩寺霊園管理費）です。郵便局備え付けの振替用紙で送金くださっても結構です。普通銀行やコンビニのATMから送金する場合の口座番号は、（ゆうちょ銀行・ゼロイチキウテンへ〇一九）店当座預金0372690 松岩寺霊園管理費）です

## ※各家墓所の改修時は

各家の墓所を改修する時は、施工する石材店に工事をする上での注意事項などがありますので、寺にご連絡ください。

なお、墓地を整備したため、十カ所ほどの新しい区画があります。お頒けすることができます。詳しい事は寺へ直接連絡ください。

## ※年忌法要後の食事は寺でもできます

壇信徒会館（三階建）は、年忌法要後のお食事に御使用いただけます。壇信徒会館の二階は椅子席で二十席。三階も椅子席で四十名まで会食できます。お使いください。

## 立ち止まって、過去をふりむくものを大人という

なにやら、いわれがありそうな日の丸の写真をかかげました。檀家の内田慎太郎さんが、保存している日の丸です。

叔父さんの勝治さんが出征するときに親戚知人が「武運長久」を祈って、寄せ書きしたとのこと。

残念ながら、勝治さんは昭和二十年二月に台湾で戦死します。遺骨のかわりに石ころが五つ六つ送られてきたという。その時に、この旗もいっしょに届けられたかという、そうではない。この日章旗はだいたい遠回りをして、日本へ帰ってきました。

この旗は一度、台湾からアメリカ本土へ渡ります。どなたかが、保管していたのでしょうか。はじめは日本への憎しみもあったでしょう。複雑な気分は歳月とともに消え去り、アメリカでの持ち主が、遺族へ返したいと思ふようになります。そのことが、日本の新聞で報道され、たまたま目にした内田さんの親戚が連絡して、いちばん近



い親族のもとへもどってきた。と、いう旅路をたどったようです。ちょうど、位牌を修理して開眼をするついでに（ついでと言っては失礼だから、同時に）、ご家族親戚も集って、本堂でお経をあげてご回向したというわけです。

この日章旗の左すみに、松岩寺の前々住職の高桑禅鉄和尚の署名をみつけることができます。明治九年生まれで昭和二十六年六月に八十四歳で亡くなった禅鉄和尚は、日清・日露の両戦争に出征しています。「自分のように無事に帰って来いよ」と願ったのでしょうか。

そう書いてきて「出征」とか「武運長久」とか、今では聞かれなくなった言葉がいくつも並んでしまいました。若い人が読んだら、たぶんこんなリアクションをおこすでしょう。「ナニ、それ。生まれてなかったもの」そんな反応をしめす方へは、マルクス・トゥルリウス・キケロ（BC一〇六〜BC四三）の次のことばをおくりませう。

「自分が生まれる前に起きたことを知らないでいれば、ずっと子どものままだ」

立ち止まって過去をふりむくものを大人といえます。もはや、大多数の人が戦争を知らないこの国で、戦争を忘れないのではなくて、戦争は学びの対象ではないでしょうか。とすれば、ここに掲げた写真は、決してやっつけてはいけないことを教えてくれる、悲しいけれど、たいせつな教材です。

## 日曜の朝の坐禅会（八月は休会です）

毎週日曜日の朝六時から七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください、初心の方にも丁寧に坐り方をご案内します。

十分ほど坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時には終わりです。

一日中、スマホを手放せない現代人には、貴重な時間になります。

## 教養講座

【金つぎ教室】講師 花輪滋實

第四土曜日 午後一時半〜四時半まで

【仏像を彫る会】講師 高野竜生（八月は休会）

第二・四日曜日 午後一時半〜四時半まで

【声を出して元気になる】次回は九月一八日

講師／林 航（月に一度 午後一時半〜三時）